

菩提山

島田市立伊久美小学校

今年のおペレッタは???

伊久美に伝わる昔話や出来事を毎年おペレッタにしている伊久美小です。「今年は、どんなことを取り上げるのかな」と市内の各学校からも注目されています。昨年は、「あの夏を忘れない」と題し、災害後の50年を振り返り、伊久美地域の復興に向けた努力を歌い上げました。

さて、今年は……。

「峠の地蔵尊」を取り上げることにしました。

「峠」は人が行き交う場所であり、地域と地域とを結ぶ大事な拠点です。昔の人、地域の交流は現在のように、川の上下流域が中心の「たて」のものではなく、川や山を挟んだ「よこ」のものが中心であったと聞きました。

そこで、今年は伊久美地域の昔の物流に着目したお話を展開したいと考え、檜峠を取り上げることにしたのです。「島田『史話と伝説』百話」には、次のような紹介文が掲載されています。

峠の地蔵尊（伊久美）

伊久美小字小川から藤枝市滝沢へ山越えする檜峠に地蔵堂があり、小川の人たちによって法要が営まれている。

この本尊地蔵は、その昔、麓まで海であったころ、大波の引けた後に異様の光を放つものがあった。

拾い上げてみると、顔をはじめ身体中に貝殻をつけた地蔵の尊像だったので、土地の人たちがお堂を建て安置したものだと伝えられ、古来このお堂の扉を開けると時化（しけ）になるといわれ、一度も開扉されたことがないという。

おペレッタで使うシナリオは、この紹介文のみを参考とするものではありません。伊久美村史も参考とし、「劇」として仕立てていきます。上演を是非、楽しみにしてください。

確かな学びを創る

授業への取り組みが本格的にスタートし、どの学年においても意欲的に授業に臨んでいる姿が伺えます。授業は学校教育の中心です。知識の習得のみならず、子どもたちの学ぶ意欲の向上に向けても積極的に取り組んでいます。



< 4・5年：俳句づくり >



< 1年：算数 >
電子黒板による授業



< 2・3年：学活 >
友だち関係の向上へ